

一般

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名		ごみ収集業務委託			事業コード	1908
担当課等	所属名	玉山総合事務所 税務住民課		担当係名		
	課長名	玉山総合事務所 税務住民課	担当者名	小綿孝志	電話番号	113

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	環境との共生	コード 6	施策	生活環境の保全	コード 1
	基本事業	環境衛生の確保	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 4款 2項 2目 塵芥収集運搬委託事業 (001-04)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒ (開始年度 50年度～)		
事務事業の概要	家庭系一般廃棄物の収集運搬					
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
廃棄物の増加に伴い、一部事務組合の設立によりごみ焼却場を建設し、収集業務を外部委託したことにより開始された。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
特に無し						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
今後、ごみの区分が増えることで収集日程増が予想され、それに伴い委託費の増加も予想される。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	⇒	盛岡市域(玉山区分)の家庭系一般廃棄物	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 家庭系一般廃棄物	単位	種類
					B.	単位	
					C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	⇒	22年度実績(22年度に行った主な活動) 塵芥収集車を使用し一般家庭から排出される一般廃棄物の収集運搬 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 塵芥収集車を使用し一般家庭から排出される一般廃棄物の収集運搬	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 収集運搬量	単位	t
					B.	単位	
					C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	⇒	市民が快適に過ごすことができるようにするため、一般家庭の日常生活に伴って排出される家庭系一般廃棄物を迅速かつ安全に収集運搬する。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 時間内の収集 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input checked="" type="radio"/> 維持する】	単位	時間
					B. 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	
					C. 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	⇒	環境衛生が守られている	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	焼却処理施設での年間処理量(単位:t) 資源ごみ処理施設での年間処理量(単位:t) 粗大ごみ処理施設での年間処理量(単位:t) 生活公害に関する苦情件数(単位:件) 市営墓園利用率(市営墓園使用区画数/市営墓園墓地数)(単位:%)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	家庭系一般廃棄物	種類	12	12	12	12	12	12	年度
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	収集運搬量	t	2426	2426	2400	2426	2426	2426	年度
活動 指標B									年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	時間内の収集	時間	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	年度
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	26,355	26,208	26,208	26,145	26,145	26,145	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	26,355	26,208	26,208	26,145	26,145	26,145	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	26,355	26,208	26,208	26,145	26,145	26,145	*****
	延べ業務時間数	時間	1,600	1,700	1,700	288	288	288	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	6,400	6,800	6,800	1,152	1,152	1,152	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	32,755	33,008	33,008	27,297	27,297	27,297	*****


3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 廃棄物の計画的な収集運搬は住民の快適な生活に寄与している。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 一般廃棄物を生活環境の保全上支障が生じないうちに収集運搬し、処分することが市町村の責務と定められており、その手段として外部委託をしている。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくていいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他 理由:
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 受入れ施設の受付時間内に収集運搬されており、事故も起こっていない。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容:ごみ出しのルールが守られていない場合に、迅速性と安全性が損なわれるので、ルール徹底を図る。リサイクル等によるごみ減量を図ることにより時間を短縮する。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 廃棄物の収集が行われない場合、住民の生活に支障をきたす。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: 塵芥収集運搬委託事業 ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> できない 理由: 地域ごとへの搬入施設の管理運営方式により、収集方法が異なるため。
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 燃料費の高騰、機材の更新等の受託業者の負担が増加する中で、予算額は減少しており、削減は業務維持が困難になることが考えられる。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 最低限の人員で対応しており、これ以上の削減は出来ない。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 区内全域のごみを日程どおり収集している。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 収集業務負担を軽減するために、地域の資源集団回収によるごみ減量化を推進する。 ②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) ストックヤード等の設置を推奨し、地域の資源集団回収を促進する。
---------	--

5. 課長意見

一次評価	(1)一次評価者としての評価結果 ① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ② 有効性 ○ 妥当 ● 見直し余地あり ③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり	(2)全体総括(振り返り, 反省点)
今後の方向性と改革改善案	(3)今後の事務の方向性(改革改善案) <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	
		
方向付けの理由と改革改善の内容 違反ごみ等により円滑な収集活動が阻害されないよう、ごみの分別・出し方の周知啓発に努め、家庭ごみの収集運搬委託の効率化を図る。 また、今後のプラスチック容器包装等の分別収集に向け、今後の収集体制の検討が必要となっている。		